

地域で取り組む旅行商品づくり！ ～神戸の産業や文化を学ぶ観光ツアー～

企画課の入江です。4月の着任から半年以上になり、神戸の空気にも大分慣れてきました。神戸市内の関係者の方々とも、日々の打合せの中で話しやすい関係になってきたと思います。今回は、その地域の関係者の方々と一緒に取り組んでいる「旅行商品づくり」についてです。



神戸のみなとエリアでは、遊覧船事業者や近隣の商店街、その他関係団体の皆さんで構成する「YOKOSOみなとまち神戸コンソーシアム」という協議の場で、観光によるエリアの活性化策などについて検討を行っており、我々運輸監理部もメンバー・事務局として関わっています。このコンソーシアムの場で、今年度から、地域の関係者が連携して地域の魅力を伝える旅行商品づくりに取り組んでいくこととなりました。



神戸にはメリケンパークやハーバーランド、南京町、北野異人館街など有名な観光地が多くあり、何となく歩いてランチやディナーを頂くだけでも楽しめますが、それだけでは伝わらない神戸の魅力があります。神戸港を支える造船・鉄鋼・物流などの様々な産業、南京町や異人館街を形作ってきた神戸の異国情緒あふれる文化など、今の神戸を神戸たらしめている魅力の根っこを知っていただき、神戸により親しんで帰っていただく・・・そのための観光ツアー（旅行商品）です。

もちろん、観光ツアーを企画するためだけの取組みではありません。この取組みを通じて、送客元の旅行会社でなく「地域」が主体的に旅行商品を企画していくことで、地域の魅力を十分に伝えるとともに、観光の経済効果を着実に地域のものとする仕組みをつくり、地域の他の関係者の皆さんにも加わってもらって、さらに仕組みの輪を広げていくためのメインエンジンになればと思います。

モデルツアーは年明けにも実施する予定です。地域の関係者により各種媒体でご案内いたしますので、ぜひご参加ください！